北摂トレイル踏査山行 第７回（5/11 行程）

七面口～小和田山～剣尾山～行者口

2020 年3月29日

＜参加メンバー＞ ６人（男性4人、女性2人）　　**＜天　候＞** 小雨 後 曇り 後 晴れ

＜ コ ー ス タ イ ム ＞

能勢電鉄妙見口駅前 7：55 発（阪急バス）～ 8：25 七面口停～ 8：41 七寶寺 ～ 8：49 登山道入口 ～ 9：24 林道出合 ～ 9：26 登山道への分岐 ～ 9：54 小和田山頂上 ～ 10：41 車道出合 ～ 11：25 豊中センター（ﾗﾝﾁﾀｲﾑ）11：50 ～ 12：14 登山道分岐 ～ 13：59 旧大阪府青少年野外センター跡 ～ 14：17 旧センター本館跡 ～ 15：05 剣尾山頂上 ～ 15：39 行者山 ～ 15：45 お堂 ～ 15：56 林道出合 ～（この間、バスに間に合うように早足で向かう）～ 16：05 行者口停
（この後、若干遅れた阪急バスにて帰る）

＜ 山 行 の 概 要 ＞

このルートは踏査山行第１回目で取り組んだが、その時は小和田山から尾根通しに進み豊中センターへと最短距離でトレースするもくろみが、道なき道で藪漕ぎと急斜面の下降を余儀なくされて、豊中センターまでで途中断念した。今回はそのリベンジとして、小和田山から半国山へと抜けるルートに変更して、車道歩きを伴うが豊中センターへと向かった。途中、登山道がやや不明瞭なところがあり、車道手前でルートをそれてしまったが、概ね予定のルートをトレースできた。豊中センターから先は京都・大阪の府境の尾根を辿り、廃施設となった大阪府少年野外センター跡へと辿り着き、ここからは今は廃道状態となっている剣尾山への直登ルートを辿って剣尾山に到達した。

所要時間は約７時間で交通機関のバスの時間を考えると、かなりタイトな山行、ルートであることが分かった。

実行動時間：約７時間　　歩行距離：約１６ｋｍ

1. 七面口停でバスを降り、七寶寺へ向けスタートする

2. 涌泉寺（ゆうせんじ）の「契り塚」

3. ここにはトイレがあり、用を足してから再び出発

4. 七寶寺境内へは登山者は入れず、参道の手前右側から上部をめざす

5. 大きな仏様がたくさんある建立されている道を進む

6. 釈迦涅槃像の手前にある楊柳観音の脇に登山道の入口がある

7. 歩き出して暫くすると水の少ないため池に出る

8. 落葉と倒木の多い道を進む

9. ルートから少し外れた釈迦岳（今回は登らず）への分岐を過ぎて暫く進むと高圧鉄塔の下に出る

10. 鉄塔からすぐに林道に出る

11. 林道を暫く進んで左にカーブするところの右手に登山道への分岐がある

12. 明瞭な道が続く

13. アセビ（馬酔木）が満開だった

14. 小和田山の頂上に到着

15. ここには三等三角点がある

16. 頂上から先は下りが続く。一部分、結構傾斜がきつい

17. 加舎の里カントリー方向に下りるところが道不明瞭で、間違って道をそれてしまった

18. 加舎の里カントリーの敷地内の道に出た

19. カントリーの管理用道路のようで、フェンスの脇を通過した

20. 先程のフェンスのすぐ横にある左側の階段が正規の登山道

21. ここからは府道 731 号をてくてく歩く

22. 豊中センター（野外活動センター）に到着し、ここで寒かったがランチとした

23. ランチの後、センター内の舗装路を歩く

24. 舗装路の上部から大阪・京都府鏡の尾根へと続く道を進む

25. 途中から北摂名物？鹿除けネットが続く

26. 旧大阪府青少年野外センター時代の道標がある分岐

27. ここも左の NO.26 と同じ旧道標のある分岐。センターは東洋一とも言われたくらい敷地が広く、立派な施設だったらしい

28. 旧センターの見る影もない施設の一部が見えてきた

29. 施設の敷地の一部では、今はやりのジップラインやセグウエイをやっていた

30. ここにはトイレもある

31. 剣尾山の登山口めざして池の横を進む

32. 登山口となるセンターの旧本館へと進む

33. 剣尾山への直登の道を探しながら道標を発見

28. 急登が続く

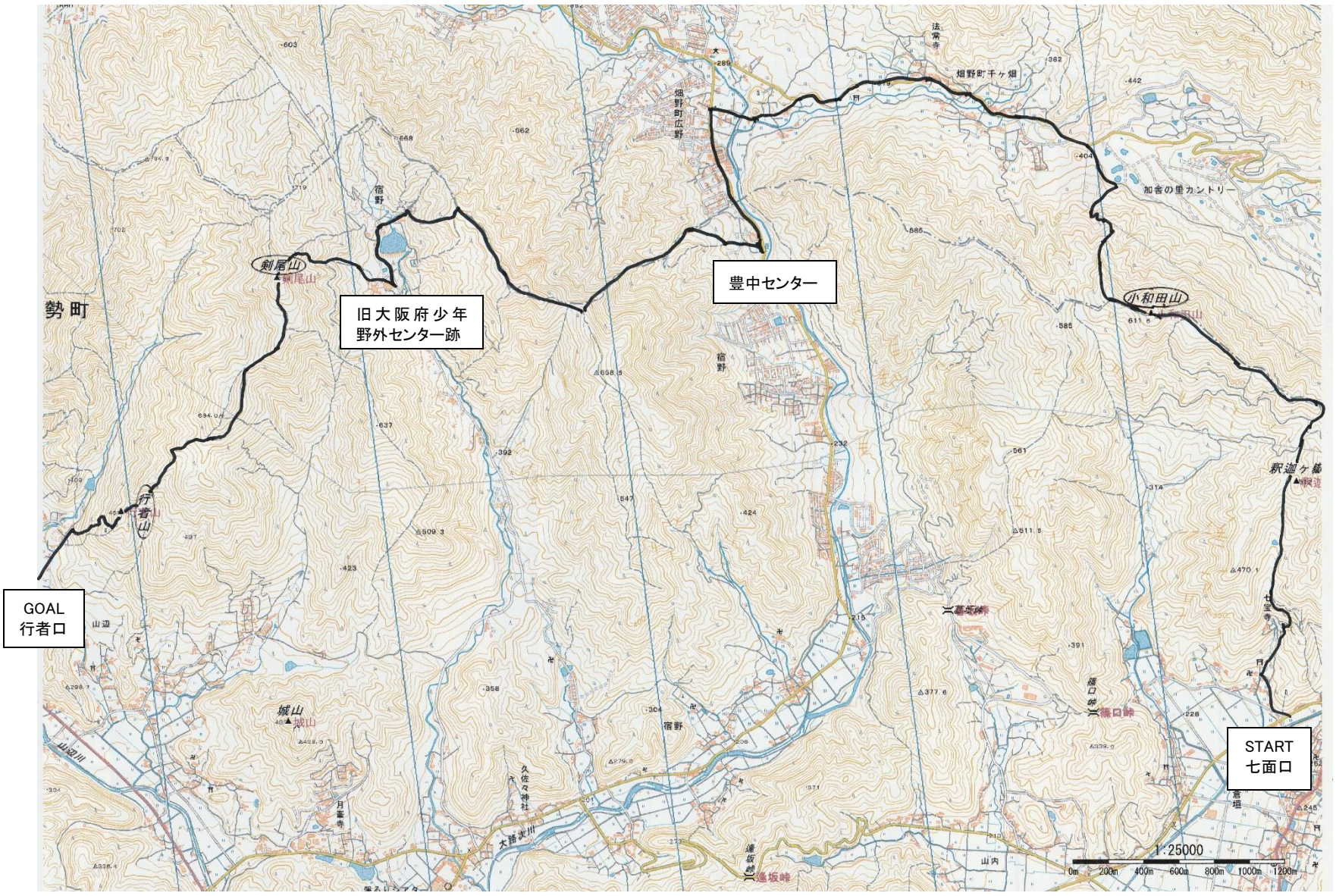
29. ようやくしっかりした道標のところに出る

30. もう少しで剣尾山頂上

31. ようやく頂上に到着　予定より若干時間が超過

32. 行者山の修行の場であった巨岩

33. お堂に到着

34. 能勢の郷横の林道出合に到着

29. 林道を行者口バス停めざして進む。初めは 16:06 発のバスは無理かと思ったが、間に合いそうなので早足、駆け足でバス停を目指した。 だのに、バスは5分ほど遅れて来た　なんじゃコレ～